

## 第3学年4組 社会科学習指導案

3年4組教室 指導者 鈴木 美佐

1 単元名 発見！すてきなお店「カネマツさん」 （はたらく人とわたしたちの暮らし）

### 2 単元の目標

- (1) 校区にあるスーパーマーケットや個人店に出かけ、販売の仕事や働く人たちに関心を持ち、問題意識をもって意欲的に調べようとする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 消費者のニーズや願いをかなえようと販売する側の人たちの工夫や購入する側の消費者の工夫について考え、自分なりに意見をまとめて伝える。 【思考・判断・表現】
- (3) 店の見学や聞き取り調査を行い、調べてわかったことをまとめる。 【資料活用などの技能】
- (4) 販売にかかわる仕事は他地域とかかわりながら自分たちの生活を支えていることを理解する。 【知識・理解】

### 3 単元の構想

1学期単元「学校のまわり」では、子どもたちは意欲的に校区探検に出かけ、多くの店を発見した。鶴城小校区に4つのスーパーマーケットがあることを知り、「ぼくの家は、ドミーによく行くよ」、「私のお母さんはマックスバリューが好きだよ」と家での買い物の様子を話してくれた。2年生の町探検で心に残っていることを聞いてみると、真っ先に出たのがカネマツフードの店長であった。店長の人柄が印象に残っているようである。しかし、買い物についての事前アンケートによると、カネマツフードで買い物をする家庭は1件しかなく、子どもたちはカネマツフードで買い物をした経験はほとんどない。スーパーマーケットには子どもたち全員が何度も行ったことがあり、身近なお店といえる。

本単元は、スーパーマーケットや個人店の見学を通して、販売の仕事やそこで働く人に関心を持ち、販売の仕事が自分たちの生活を支えていることや、販売者が消費者のニーズに応えようと工夫や努力をしていることを理解することがねらいである。

校区にあるスーパーマーケットはドミー、マックスバリュー、Aコープであったが、昨年6月に新たにヤマナカが進出してきた。その中で、カネマツフードは大正時代から続く昔ながらの「八百屋さん」である。現店長は3代目にあたる。20年ほど前は店の野菜の余りを鶴城小学校のうさぎのえさとして分けてくださっていたこともあった。店長自らが市場で競り落としてくる野菜や果物を中心に店頭で並べて販売している。また、飲食店への卸しを行うために、大口に販売することが特徴である。2名のパート以外は家族で店を切り盛りし、客とのコミュニケーションを大切にしている。そこで、スーパーマーケットとカネマツフードについて調べることで、子どもたちは、その違いに気づき、それぞれの店の工夫や努力について多面的にとらえることができると考えた。また、100年近くも続くカネマツフードに愛着を感じ、さらには地域への愛着へと気持ちが高まることを期待したい。

単元のはじめに家庭の買い物調べを1週間行い、自分たちの生活を支えるためには主に食料品が購入されており、買う店はスーパーマーケットが多いことに気づかせる。そこから、店のよさは何だろうと問題意識をもって追究が進められるようにする。スーパーマーケットの見学では買い物によく行く上位3つのスーパーマーケットを選定し、学級を3グループに分けて別々に出かけ、相違点だけでなく共通点も見つけさせたい。そして、個人店であるカネマツフードを取り上げ、スーパーマーケットと比較をすることで、店によって様々な工夫があることが明らかになってくるであろう。また、カネマツフードの店長をゲストティーチャーとしてお招きし、お客さんに喜んでもらうために一生懸命に働く店長の生き方にも触れさせたい。単元のまとめでは、カネマツフードのおすすめポイントをPRパンフレットにまとめ、紹介する。子どもたちが地域にはたらきかけ、地域に愛着をもつことができるようになってほしい。

#### 4 指導計画（13時間完了、本時11/13）

校区探検でお店をたくさん見つけたね。どんなお店があったかな。

・おかし屋 ・おすし屋

・スーパーマーケット ・コンビニ

お店がたくさんあるけれどうちの人はどこで買い物をしているのかな①

○買い物調べをまとめよう①

- 1位 ドミー （家から近い。スギ薬局が隣にあり、便利。）
- 2位 マックスバリュー （火曜水曜特売。24時間営業。）
- 3位 ヤマナカ （新しくてきれい。品ぞろえが多い。）
- ※カネマツフード（1人）（野菜が安い。地元のものがある。）
- ・スーパーマーケットは人気があるね。
- ・カネマツさんは100年近くも続いていてびっくりしたよ。あまり行かないけれど長く続いているお店のよさがありそうだ。

スーパーマーケットとカネマツさんにはどんなちがいがああるのかな。

スーパーマーケットにはないカネマツさんのよさを見つけよう⑩

○スーパーマーケットとカネマツさんの見学に行く計画を立てよう①

- ・どんな商品があるのかな。 ・店長さんにインタビューしたい。

○見学に出かけよう⑥

- ・ドミー調査隊 ・マックスバリュー調査隊 ・ヤマナカ調査隊
- ・カネマツフード調査隊（全員）

○スーパーマーケットを見学して見つけたよさをまとめよう②

<共通点>

- ・音楽が流れている ・売り出しの商品をたくさん並べる。
- ・季節感を出してお客さんが買いたくなるようにする。
- ・大きな駐車場がある ・カートがある。 ・特売日がある。

<相違点>

- ・カートインサッカー台がある。 ・ポイントカードがある。
- ・イトインコーナーがある。 ・レンジが無料で使える。

○スーパーマーケットにはないカネマツさんのよさを考えよう①

（本時11/13）

- ・野菜や果物が安い。
- ・地元のものが売られているので安心して買い物ができる。
- ・店長さんやおばさんと話をするのが楽しい。

カネマツさんにはスーパーにはないよさがたくさんあり、お客さんのためにがんばっている。カネマツさんを地域の人にもっと知ってもらいたい。

カネマツさんのおすすめポイントを紹介しよう ②

○カネマツフードのPRパンフレットを作ろう

- ・カネマツフードには地元で取れたおいしい野菜がありますよ。
- ・バナナがとっても安いので、ぜひ来てみてください。
- ・お店の人が今日のおすすめの野菜を教えてください。
- ・いつも元気な店長さんです。

校区のすてきなお店、カネマツさんを応援していきたい。

<教師支援>

- ・校区探検地図に見つけた店をマークする。スーパーマーケットは他の店と色を変える。
- ・1週間の買い物調べを行う。
- ・買い物の状況をとらえさせるため、買い物調べの結果をグラフに表す。
- ・スーパーマーケットにはないよさや工夫を見つけるため、地域の個人店（カネマツフード）を取り上げる。
- ・カネマツフードが100年近く続いていることを知らせる。

- ・様々な工夫を見つけるため、学級を3つのグループに分けてそれぞれのスーパーマーケットを見学する。
- ・スーパーマーケットの見学ではバックヤードの様子も見学できるように打ち合わせをしておく。店長さんやお客さんにインタビューする時間を設ける。
- ・カネマツフードの見学には全員で2回行き、調べを深められるようにする。
- ・スーパーマーケットとの違いを考えながら、カネマツフードにしかないよさを発表できるようにする。
- ・カネマツフードの店長をゲストティーチャーとしてお招きし、話をしてもらう時間を取る。

- ・お店のよさを広めるためにPRパンフレットを作り、うちのの人に配って宣伝をする。
- ・店長さんをクローズアップし、スーパーマーケットにはない、人と人がふれあう買い物の楽しさを紹介するようにする。

導入

深化

活用

## 5 本時の学習

### (1) 目標

- ・スーパーマーケットにはないカネマツフードの魅力に気づくとともに、消費者に喜ばれる工夫や努力をして販売していることを理解することができる。

### (2) 過程

流れ	子どもの活動	教師支援
つかむ5分	1 本時の学習課題を確認する。  スーパーマーケットにはないカネマツさんのよさを考えよう	・カネマツフード店長を紹介し、発言の意欲化を図る。
かかる30分	2 カネマツフードを調べてわかったよさを発表する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;店の見学からわかったこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の外に野菜や果物が並べてあって買いやすい。</li> <li>・品物はトレーやラップを使わず、かごに入れている。</li> <li>・野菜を切って売るといたむので、丸ごと売っている。</li> <li>・店長さんが毎日市場に出かけて野菜を選んで買ってくる。</li> <li>・できる限り人はやとわず、家族で店の仕事をする。</li> <li>・お店の人はお客さんとあいさつをしたり、話をしたりしている。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;お客さんや家族から聞いたこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜や果物が安い。バナナがおすすめ。</li> <li>・地元の野菜が売られていて安心できる。</li> <li>・他の店には売っていないめずらしい品物がある。</li> <li>・店長さんやお店のおばさんと話をするのが楽しい。</li> <li>・私のおばあちゃんはずっと前から通っていて行きやすい。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店での発見と聞き取り調査を分けて板書する。</li> <li>・スーパーマーケットの調べと比較しながら、店のよさを発表する児童を称賛する。</li> <li>・聞き手に伝わりやすいように写真や絵カードを使うとよいことを指示する。</li> <li>・「地元の野菜だとなぜ安心なのか」、「大きな駐車場がないけど大丈夫かな」などと問いかけ、ゆさぶりをかける。</li> <li>・販売者の工夫と消費者の思いは同じになることを気づかせるために意見が出た後で板書からわかることを考える時間をとる。</li> </ul>
30分	3 100年近く続いている一番のわけは何かを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安いことがお客さんに喜ばれるのだと思う。</li> <li>・野菜を選んで買ってきているので、お客さんは安心する。</li> <li>・あいさつや会話はお客さんをまた来たいという気持ちにさせると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番に選んだ根拠を発表させる。</li> <li>・「店長さんはどう思っているのかな」と投げかけ、授業に参加していただく。</li> </ul>
	4 カネマツフード店長からお話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さん一人ひとりと仲がよく、大切にしているね。</li> <li>・お客さんの笑顔をもらって元気よく働けるんだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人の思いに共感することをねらい、お客さんの笑顔を励みに販売の仕事をしていることを話していただく。</li> </ul>
まとめ10分	5 本時のふりかえりを書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カネマツさんはお客さんに喜んでもらえるようにがんばっていることがわかった。</li> <li>・カネマツさんに買い物に行きたい。</li> <li>・カネマツさんの野菜や果物をたくさんの人に知ってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カネマツさんのよさについて、本時で新たにわかったことを中心にふりかえりを書くことを指示する。</li> </ul>